

第7回 環境井戸端会議

－ 未来につなぐ持続可能な社会をつくるには －

1. ふりかえり (25分)

- ① 4人のグループにわかれる
- ② 気に入ったトピックと、そのキーワード (3～5個) を各自紙に書く
- ③ キーワードを総合して持続可能な社会にむけたメッセージをつくる
- ④ グループの代表者がメッセージ (予めマナーボードに記す) を発表し、若干討議する

2. 持続可能な社会を考える

(1) ミニ講義 (25分)

1) 持続可能な社会 (SD) (別紙スライド資料参照)

2) 日本のSD問題

- ・地方の過疎 (持続不能社会) からの脱却
 - 全国 1720 市町 (2012) のうち 775 市町 (45.1%) が過疎指定 (人口の 8%、面積 57.2%)
 - (2050) 現居住地の 20%が人の住まない地、人口 (現在 1 億 2700 万人) が 1 億人を割る
 - 4 人に 1 人が 75 歳以上、生産年齢人口 (現 7760 万) が 5000 万を割る、世界的な食料争奪戦
- ・行政による過疎対策 (企業誘致 → 公共事業 → U, J, I ターン) に成果がみられない
 - 成功例: 行政にたよることなく自立的、先進的な取組をして I ターン
- ・企業誘致の時代から人を誘致する時代
 - 人がくるのを待つのではない、町が創造人材を全国から選び指名してきてもらう
- ・創造階級の特徴: やりがい重視の仕事観/ 緩い管理/ キャジュアル・アウトドア/ 仕事ではなくまず居住をきめる

3) 事例 (裏面の事例参照)

- ・日本中の「生活空間の均質化」を打破する創造農村を地方に、創造都市との連携・交流
- ・持続可能化どうかより、持続価値があるか否かの視点で考える
- ・ないものねだりからあるもの探しへ、田舎をすてきに変える、町を美術館に!
- ・人々の生活の根っこの部分と共鳴するものが文化芸術、伝統と最先端を調和する
- ・地域資源に現代アート (クリエイティビティ) をどう結びつけるか
- ・文化を経済成長のエンジンとするクリエイティブ経済政策へ転換、外部人材を取り込む

休憩 (10分)

(2) 福井市の持続価値と未来(議論) (50分)

- ① グループワーク (4人組)
- ② 新幹線の新福井駅で下車する県外者のための街歩きガイドをつくる
 - ・持続価値のあるものを挙げる (持続に値するか否かの視点で未来を想像する)
 - 例 歴史物、自然景勝、農業・工芸体験、マイレストラン (伝統料理)、マイホテル (民泊)、
伝統や自然を楽しむ (足羽川のくり船、伝統料理づくり、鮎釣り、楽器等)
- ③ ②のいくつかをとりあげて1日ウォークのメニューを作る
 - ・歴史、伝統料理コース
 - ・自然満喫コース など
 - ・体験型ツーリズム、農業ツーリズム、クリエイティブツーリズム
- ④ マナーボード (ホワイトボードに貼付できる) とホワイトボードを使って成果を発表

3. 本日のふりかえりやアンケート回答 (10分)

【持続可能な村への挑戦事例】

- ① **長野県木曾町** (人口12.3千人, 高齢化率32%)
農山村文化と自治の取り組みを土台とした「美しい村」づくり：行財政の効率化を目的とする市長村合併に対して、旧町村単位の権限を保障し、**地域間連携を強化**する「地域自治組織（地域協議会）による取組み」を土台とする「**美しい村づくり**」
- ② **秋田県仙北市** (人口29.2千人, 高齢化率34%)
伝統芸能の現代的再生と「3.11」の意味：舞台創造の全国的展開や芸術村経営を実践する「わらび座」と、わらび座が拠点を構える仙北市の「**伝統芸能を創造産業化する**」まちづくり。創造都市と創造農村の連携で創る**クリエイティブツーリズム**
- ③ **山形県鶴岡市** (人口134.8千人 高齢化率29%)
在来作物による食文化発信：**食文化創造都市**への取組み。食の地産地消から地元食材の発掘、「食のワンダーランド」の展開。在来作物は地域の知的財産として山形大学が**地域イノベーション**を支援。民泊や**食文化国際映画祭**を展開。
- ④ **兵庫県篠山市** (人口43.9千人, 高齢化率29%)
漂泊的定住者がひらく創造的解決の扉：漂泊的定住者の金野（ノオト代表）による「篠山の隠れた自然や文化資産の価値を再発見し、それを発信することで新たな食文化や工芸の担い手（**クリエイティブ人材**）を誘致。**創造空間**として空き家を改修
- ⑤ **群馬県中ノ条町** (人口17.8千人, 高齢化率33%)
過疎の町が再生のエンジンとして選んだ現代アート：農村が都市（都市化）を目指す住民ばかりの中、**農村の「生活美」を持続的価値社会**と考え、**里山現代アート**のビエンナーレを開催。アーティストの拠点をつくるなかで住民の意識転換をもたらすに至った、町長のまちづくり奮闘記
- ⑥ **徳島県神山町** (人口6.1千人, 高齢化率46%)
創造人材の誘致による過疎への挑戦：「**人がコンテンツ**」なる理念のもと、過疎の村のNPOグリーンバレーが、クリエイティブな人材を「逆指名」して町に誘致する神山町。神山**アーティスト・イン・レジデンス** (KAIR) でアーティストを選考。創造的過疎で地域を再生する
- ⑦ **香川県直島町** (人口16.1千人, 高齢化率30%)・**小豆島町** (人口11.1千人, 高齢化率36%)
地域性と結合した文化的資源の創造による島の活性化：アートの島と呼ばれる直島における民間企業ベネッセによる**文化事業の事業発展過程と戦略的意義や地域活性化**の状況、および小豆島の**瀬戸内国際芸術祭**を契機とした地域活性化の取組みを紹介。
- ⑧ **沖縄県読谷村** (人口40.5千人, 高齢化率19%)
三線と伝統工芸を活かした平和のまちづくり：基地補助金漬けを一新、世界水準の「目的型リゾート」を目指す沖縄県のなかで、**文化の産業化と、創造産業による自律経済の実現**にむけて走る三線発祥の地「読谷村」の大きな可能性を考察。壺屋焼、読谷山花織など伝統工芸の復活、やむちんの森の誘致など

(参考) 福井市 人口高齢化率 28.1% 265 千人 10 万世帯 世帯人口 2.6 人